

# 視点

## View Point

しも おお ぞの ひろし  
**下大 蘭 浩 氏**

東日本旅客鉄道株式会社  
執行役員 長野支社長

長野は自然豊かな観光地であるばかりでなく、歴史や文化、食べ物など多様な魅力があります。それぞれを地域にお住まいの方が大切に育まれている「カラフル」な土地であることを着任して知りました。県外の方が訪れて良かったと思うだけでなく、県民の方々が住んでいて良かった、働いて良かったと思えるまちになれば、観光地としての長野はもっと強くなります。地域の皆様と一緒に、そんな長野に盛り上げていけたらと願っています。

## 地域に住む人も働く人も観光客も トータルでハッピーになる長野に



PROFILE  
1969年生まれ。1994年東京大学大学院工学系研究科(修士)修了、JR東日本入社。大宮支社総務部長、東京工事事務所次長、建設工事部ユニットリーダー等を経て今年6月から現職。

方々が、ここで生活して良かった、ここで働いて良かったと思える場所にならないと本物にならないと思います。私も従業員に向けて、まず住みたい長野に、そして訪れたい長野に、働きたい長野にしましょう、そのお手伝いをやっていきましょうと話します。観光客だけのことを考えてはダメで、お住まいの方、働いている方、勉強している方、トータルでみんながハッピーになる場所になれば、観光地としても長野はきつと強くなります。

また、長野やその周辺には様々な観光素材が数多くあり、歴史や文化や食べ物を含め、地域の皆様が各々盛り上げていることは素晴らしいのですが、私が東京にいた時には長野にこんなたくさんのお祭りがあることも、お酒の種類が豊富なことも知りませんでした。さらに、オリンピック開催都市のイメージが強く、世界的にもNAGANOの知名度は高いのに、そのことを売り出しているように映りません。もったいないなと感じます。**もっと大胆にアピールしてよいと思います。**

### 2025春、 長野県とSuicaエリア拡大

地域住民も観光客も共にハッピーになるため、ご協力いただけることはあります。

下大 蘭 現在はデジタルでの発信に力を入れています。YouTubeでの旅先の紹介をはじめ、北信濃では各自治体と協力して「旅する北信濃」という、観光地のご案内から切符の予約、観光施設の入場チケットや地元グルメの電子チケット等の購入をスマホで行えるサービス(MaaS:ミューズ)を展開しています。

また、当社のICカードSuicaは、これまで松本駅までしか使えませんでした。が、いよいよ**2025年春、長野駅、大糸線の穂高駅まで使えるようになります。**北陸新幹線では「タッチでGO!新幹線」や「新幹線eチケット」というサービスをすでに行っていますが、来年春からは在来線でも乗車券や定期券をカード化、モバイル化できます。市内路線バスのICカード「KURURU」やSuicaと連携したカードにモデルチェンジされ

### 長野の印象は「カラフル」

着任されて2カ月ほど経ちました。長野について印象をお聞かせください。

下大 蘭 着任前の長野の印象は「観光地」というイメージでした。着任してみると、長野市あるいは長野県にお住まいの多くの方々が、それぞれの歴史や文化を育まれてきた土地であることにあらためて気付きました。知らないことも多く、奥が深そうだなと感じますし、それぞれの場所に個性があることも知りました。

これまでも長野の印象について聞かれると、私は「カラフルだ」と答えてきました。自然豊かで山に囲まれていますから、長野を端的に表現する色は緑なのでしょうが、それだけではという感覚です。先ほど申し上げた歴史や文化、お祭り、フルーツをはじめ食べ物にしても、いろんな色がそろうっている非常に面白い地域だと思います。

### いいものをもっと大胆に アピールしてよい

カラフルで面白いと表現していただいた長野が、課題とするものは何でしょうか。

下大 蘭 長野に限らず地方全体に言えることですが、人口が減少していくなか、どうやって生活を豊かにしていくのか、鉄道も含めビジネスをどう成り立たせていくのかが大きな課題です。

長野にもそれぞれの土地にお住まいの方がいて、それぞれに生業をお持ちです。外からお見えになる方に、長野へ行って良かったと思っただけでなく、もともと地域にお住まいの

ます。地域の皆様や、観光にお見えになる方の利便性も高まります。先ほどの「旅する北信濃」もいずればSuicaとつなげ、旅をする方、これを受け入れる方が共に便利になるような仕掛けにしたいと考えています。そのようにSuicaの交通機関での利用が普及するともに、Suica決済のできるお店も長野のまちに増えていき、皆様の生活にSuicaが根差していければと思います。

皆様と一緒に地域が盛り上がり、その結果として県外からのお客さまもたくさんいらっしゃる、そして長野の皆様が自分たちをアピールするとともに外を学ぶために長野の外に出る。こうした交流が活発になると、我々にとってもありがたいことですし、長野のステータスもさらに上がります。鉄道をはじめJRのネットワークを皆様にお使いいただくことで、長野の知名度が上がり、長野が元気になるのは嬉しいことです。

人口が減少し人手が足りなくなる時代には、人の協力関係をいろんな分野に拡げていくことが、特に長野のような地方都市では大事になります。この会議所だよりを、ご覧の皆様ともぜひ連携、ご協力して、一緒になって長野を盛り上げていきたいと思えます。

DATA  
東日本旅客鉄道株式会社 長野支社  
[設立] 1987(昭和62)年  
[事業内容] 旅客鉄道を中心としたモビリティ事業および流通・ホテル・Suica等の生活ソリューション事業  
[所在地] 長野市栗田源田窪992-6  
[TEL] 026-224-5300

### 横顔

ジョギングを始め20年ほど、全国のフルマラソンに出場してきた。長野赴任後も週末はまちを走る。在任中に長野マラソンも走ってみたいと話す。